



# みんなにとって 「ごみ」って？



©東京ハイジ/ニギ町

夏休み中に、ぜひ、5・6年生のみなさんに考えてほしいこと、チャレンジしてほしいことがあります。それは「ごみ」のことです。

さて、みなさんは、「ごみ」のことについて、今まで社会科の授業じゅぎょうで習い、また、これから習うこともたくさんあると思います。

みなさんは「ごみ」と聞いて、どのようなことを思いうかべますか？  
思いうかんだことを、下のわくの中に書いてみよう！

ごみ…

いくつでも  
いいよ！

実は、「ごみ」がいろいろな問題を引き起こしていることを知っていますか？  
どのような問題があるか、知っていることを下のわくの中に書いてみよう！

いくつでも  
いいよ！

たとえば、こんな問題を聞いたことがありますか。

わたしたちの生活の身のまわりには、たくさんの便利な物があり、その多くは、プラスチックせいひんでできた製品です。世界で作られるプラスチックは、これまでの約50年間で20倍以上ふに増え、この後の約20年間でさらに2倍になると予想されています。

また、毎年、少なくとも約800万トン(8,000,000,000kg)のプラスチックが海に流れ出しているそうです。海の中にはたくさんの魚たちがいますが、人が作りだしたプラスチックのごみぶんかいがたくさん流れつき、プラスチックは、自然で分解されないことから、ずっと海の中に残ってしまいます。

そのため、2050年には、海の中の「魚の量」より「プラスチックの量」が多くなると言われていて、これは、世界中の人々にとって、とても大きな問題となっています。

なぜなら、プラスチックは、海の中でくだかれて細かくなり、また、海中の有害なものを吸着きゅうちやくしてしまうことから、魚たちが食べてしまうことで、魚たちの住む世界や、魚を食べるわたしたちの体をもこわしてしまうのではないかと考えられているからです。

2018年の夏、二宮町の海と同じ相模湾さがみわんにある神奈川県鎌倉市かまくらの砂浜すなはまで、死んでしまっているシロナガスクジラの赤ちゃんが打ち上げられました。

その胃の中からは、プラスチックが発見されています。

死んでしまった原因はわかりませんが、魚たちが間違えて食べてしまうほど、海の中にはたくさんのプラスチックごみがあるということ、クジラの赤ちゃんがわたしたちに教えてくれました。

三宮の海にも  
ペットボトル

今、わたしたちは、ごみの問題に対して、何をすれば良いと思いますか？（うらのページへ）

プラスチックは軽いため、風や雨などで川や海に流れついてしまいます。

そのため、プラスチックだけでなく、「ごみ(不要になったもの)」は、  
ぜったいに「<sup>す</sup>ばい捨て」をしてはいけませんね。

出たごみは、きちんと正しい<sup>す</sup>捨て方をしなければいけません。

ただし、「正しい<sup>す</sup>捨て方」をすれば、すべての問題が<sup>かいけつ</sup>解決するわけではありません。ごみは、いろいろな問題を引き起こしていますが、どうすれば問題の一つ一つを小さくしていくことができるのでしょうか。



## 問題を小さくするために、ごみを減らす



問題を小さくしていくためには、できるだけ「ごみを減らしていく」ことを心がけて、取り組んでいくことが重要です。

**3R**  
**R R R**  
リデュース リユース リサイクル

みなさんは、3R(スリーアール)を知っていますか？  
3Rとは、ごみを減らしていくためのキーワードです。  
次の3つの英語の頭文字をとっています。

- ① Reduce(リデュース)=ごみを「発生させない」こと
- ② Reuse(リユース)=ごみを「くりかえし使う」こと
- ③ Recycle(リサイクル)=ごみを「原料にもどして使う」こと

ごみを減らしていくために一番<sup>こうか</sup>効果があるのは、①の「ごみを発生させない」ことです。  
例えば、「食べ残しをしない」ことも、「ごみを発生させない」ということにつながります。

「食べられるにもかかわらず、<sup>す</sup>捨てられてしまう食べ物」のことを食品ロスといい、たとえば、  
食べ残しや売れ残ってしまった食品、<sup>しょうみきげん</sup>賞味期限がきれてしまった食品などのことをさします。  
日本全体では、1人1日あたりお茶わん1ぱい分の量の食品ロスを出しているようです。

また、「②誰かにゆずれば、まだ使えるもの」などや、「③きちんと分別して新しい物の原料にできるもの」などを捨ててしまっていることがあります。

このことについて「もったいない」と思いませんか？



## ごみを減らす作戦を考えよう！



学校にいる時間より、家にいる時間の方がたくさんのごみを出していると思います。

3Rの①②③で、自分にできそうな「ごみを少しでも減らせる作戦」を考えて、その作戦を下に書き、<sup>じっさい</sup>実際に取り組んでみましょう！

### ごみを減らす作戦



保護者の皆様へ

お子さんの作戦によっては、ご家族の方のご協力も必要になってくるものもあるかもしれません。  
できる限りで結構ですので、ご理解とご協力をいただけますよう、お願いいたします。